

岐阜大学教育学部
理科教育講座(化学)

佐藤 節子教授

研究室から

でも学生の教育実習や学部と附属小・中学校共同の実践的な授業研究を行うときに、たびたび附属学校を訪れて

子どもたちの成長を感じた4年間

いました。しかし、毎日通ってやっと子どもたちと先生のかかわりの深さを、腹の底から強く実感した次第です。



院生は、卒業研究の大气浮遊物観測と氷結晶成長についての研究をしていました。

大气浮遊物には土壌

黄砂ですが、観測から春や秋だけでなく夏や冬にも少し黄砂が飛んできていることがわかりました。これらの土壌粒子は冬に雪を降らせる時の雪結晶の核になると言われていますが、あの雪結晶のさまざまなきれいな形は、人工的にはなかなか作り出すことができません。どうして多様な形の雪結晶ができるのか、自然の妙技の所以を知りたいものです。そして、その自然の姿を子どもたちに紹介できたらと思っています。

この3月まで4年間、教育学部附属小・

中学校校長を務めました。教育学部は教員養成学部で、私はこれまで

1セントで向き合っていくのですが、それが子どもたちには大事な

肥やしになります。そ

土壌粒子の代表は春の

毎日740人の小学生と500人の中学生の

肥やしになります。そ

土壌粒子の代表は春の

肥やしになります。そ